

2024年8月29日

各位

会社名 Cross Eホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 松尾 貴
(コード: 231A 福証Q-Board)
問合せ先 常務取締役 鶴田 修一
TEL (0956-27-0555)
URL <https://cross-e-hd.co.jp/>

福岡証券取引所Q-Boardへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

Cross Eホールディングス株式会社（以下「当社」）は、本日2024年8月29日に福岡証券取引所Q-Boardに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお2024年9月期（2023年10月1日から2024年9月30日）における当社グループの連結業績予想は、以下のとおりであり、また、最近の決算情報につきましては、別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2024年9月期 (予想)		2024年9月期 第3四半期累計期間 (実績)		2023年9月期 (実績)		
		対売上高 比率	対前期 増減率		対売上高 比率		対売上高 比率	
売上高		4,105	100.0	45.9	3,482	100.0	2,814	100.0
営業利益		418	10.2	23.9	500	14.4	337	12.0
経常利益		427	10.4	24.4	510	14.7	343	12.2
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益		288	7.0	16.6	335	9.6	247	8.8
1株当たり当期 (四半期)純利益		133円63銭			157円73銭		116円35銭	
1株当たり (四半期)配当金		35円00銭			—		—	

(注) 1. 2024年9月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数（350,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 当社は、2024年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記では2023年9月期期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期（四半期）純利益を算出しております。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【2024年9月期業績予想の前提条件】

(当社グループ全体の見通し)

当社グループは、当社、連結子会社（ハウステンボス・技術センター株式会社及び西日本エンジニアリング株式会社）の計3社で構成されており、当社は2022年11月に設立された純粋持株会社であります。

当社グループは、「建設及び機械設置工事業」及び「ファシリティ・マネジメント事業」を主たる事業としております。

「建設及び機械設置工事業」の事業内容は、産業用機械の設置、建物・構造物建設等の各種建設工事であり、「産業用機械の設置工事分野」及び「建物・構造物建設工事分野」に区分されます。

「産業用機械の設置工事分野」では、自治体等が所有する廃棄物焼却・資源リサイクル施設等の新設、更新及びメンテナンス工事並びに民間企業の所有する製造工場のプラント機器据付工事、配管工事及びメンテナンス工事を行っております。当該分野の顧客は、自治体及び民間企業を対象にしております。

また、「建物・構造物建設工事分野」では、各種施設の建設、設備の新設、更新工事等を行っております。当該分野の顧客は、ハウステンボス株式会社を始めとした民間企業、自治体及び個人を対象にしております。

当社グループでは、西日本エンジニアリング株式会社及びハウステンボス・技術センター株式会社が当事業を担っております。

「ファシリティ・マネジメント事業」の事業内容は、各種施設の施設管理であります。ハウステンボス株式会社のテーマパーク施設及び宿泊施設を始め、長崎県、佐世保市等の公共施設、民間施設等の各種施設の指定管理者業務又は施設管理業務を行っております。

当社グループでは、ハウステンボス・技術センター株式会社が当事業を担っております。

(建設及び機械設置工事業)

西日本エンジニアリング株式会社における建設及び機械設置工事業について、前連結会計年度から継続している九州沖縄地区、中四国地区及び東海地区の工事が順調に進捗しました。ハウステンボス・技術センター株式会社の建設及び機械設置工事業においても、新規の大型改修工事の受注や、前連結会計年度までに受注した大規模工事が順調に進捗しました。

(ファシリティ・マネジメント事業)

資材や人件費の上昇はあったものの、自治体及び民間施設の管理受託契約の更新と、コストの上昇分の管理受託価格への反映が順調に進捗しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間（2023年10月1日～2024年6月30日）の実績は、売上高3,482,970千円、営業利益500,799千円、経常利益510,319千円、親会社株主に帰属する四半期純利益335,932千円となりました。

第3四半期末の時点で2024年9月期末までに売上計上される「建設及び機械設置工事業」の受注残が370,666千円あり、これに過去のトレンドから推測される第4四半期受注、第4四半期売上計上される「建設及び機械設置工事業の売上高」及び「ファシリティ・マネジメント事業の売上高」を考慮した2024年9月期の業績予想は、売上高4,105,701千円（前期比45.9%増）、営業利益418,531千円（同23.9%増）、経常利益427,691千円（同24.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益288,834千円（同16.6%増）を見込んでおります。

なお、2024年9月期における当社グループの通期業績予想については、2023年10月から2024年6月までの月次確定損益に、最新の2024年7月から2024年9月までの見込を合算して算定しております。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

(1) 売上高

売上高につきましては、完成工事高、請負収入、受託料収入及びその他で構成されており、建設及び機械設置工事事業については主に完成工事高、ファシリティ・マネジメント事業については主に請負収入及び受託料収入で構成されております。

(建設及び機械設置工事事業)

西日本エンジニアリング株式会社における建設及び機械設置工事事業について、前連結会計年度から継続している九州沖縄地区、中四国地区及び東海地区の工事が順調に進捗しており、売上高は 1,703,466 千円を見込んでおります。ハウステンボス・技術センター株式会社の建設及び機械設置工事事業においても、新規の大型改修工事の受注や、前連結会計年度までに受注した大規模工事が順調に進捗していることから、売上高は 1,659,057 千円を見込んでおります。

(ファシリティ・マネジメント事業)

資材や人件費の上昇はあったものの、自治体及び民間施設の管理受託契約の更新と、コストの上昇分の管理受託価格への反映が順調に進捗していることから、売上高は 743,178 千円を見込んでおります。

以上の結果、2024 年 9 月期当社グループ全体の売上高は 4,105,701 千円を見込んでおります。

(2) 売上原価、売上総利益

売上原価につきましては、外注費、材料費、労務費及びその他経費で構成されております。

(建設及び機械設置工事事業)

売上高の増加に伴い、売上原価も増加すると見込んでおります。売上高の増加により、相対的な労務費率が下がる一方、増加する工事に対応するため外注費比率の上昇を見込んでおりますが、外注費、材料費、労務費、その他経費を含んだ売上原価率は、前連結会計年度とほぼ同じ水準になると見込んでおり、売上原価は 2,596,700 千円、売上総利益は 765,823 千円を見込んでおります。

(ファシリティ・マネジメント事業)

外注費、材料費、その他経費については、外注先人件費、材料価格等の価格上昇分を請負価格、受託契約に反映できたものの、当社グループ従業員のベースアップによる労務費の上昇が見込まれ労務費率の上昇の結果、売上原価は 574,552 千円、売上総利益 168,625 千円を見込んでおります。

以上の結果、2024 年 9 月期当社グループの全体の売上原価は 3,171,253 千円、売上総利益は 934,448 千円を見込んでおります。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費については、人件費とその他経費で構成されております。

人件費については、役員報酬、従業員給与、賞与、法定福利費、福利厚生費を含み、販売費及び一般管理費全体に占める割合は 56.0%を見込んでおり、2024 年 9 月期の人件費は 289,128 千円を見込んでおります。

以上の結果、2024 年 9 月期の当社グループの全体の販売費及び一般管理費は 515,917 千円、営業利益は 418,531 千円を見込んでおります。

(4) 営業外損益

営業外収益については、スクラップ売却益等 9,372 千円、営業外費用については、固定資産の売却損 108 千円、固定資産除却損 104 千円を見込んでおります。

(5) 特別損益、当期純利益

特別利益については、過年度において計上した新規事業関連損失の回収である貸倒引当金戻入額 9,079 千円を見込んでおります。

以上の結果、2024 年 9 月期の親会社株主に帰属する当期純利益は 288,834 千円を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月29日

上場会社名 Cross Eホールディングス株式会社 上場取引所 福
コード番号 231A URL https://cross-e-hd.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 松尾 貴
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鶴田 修一 TEL 0956 (27) 0555
四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	3,482	-	500	-	510	-	335	-
2023年9月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 335百万円(-%) 2023年9月期第3四半期 -1百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年9月期第3四半期	円 銭 157.73	円 銭 -
2023年9月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 当社は、2023年9月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2024年9月期第3四半期連結会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載をしておりません。
3. 当社は、2024年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	3,319	2,273	68.5
2023年9月期	2,739	1,937	70.7

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 2,273百万円 2023年9月期 1,937百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期(予想)	-	-	-	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,105	45.9	418	23.9	427	24.4	288	16.6	133.63

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無
2. 当社は、2024年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年9月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	2,129,800 株	2023年9月期	2,129,800 株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	－ 株	2023年9月期	－ 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	2,129,800 株	2023年9月期3Q	2,129,800 株

(注) 当社は、2024年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期末発行済株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(セグメント情報等)	6
(1株当たり情報)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出が堅調に推移していることなどから、緩やかに拡大しております。一方、為替や物価の動向に加え賃上げの動きが活発化しているため、日本銀行はイールドカーブ・コントロール(長短金利操作)を終了しました。また、国外に目を向けても、米国の大統領選挙における不確定要素や中国の景気の先行きに対する不安があることから、我が国経済の先行きに対する影響が懸念されております。

このような状況において、当社グループの地盤である長崎県佐世保市周辺の自治体、民間企業の設備投資、更新需要や、当社グループの強みである廃棄物焼却施設等の更新需要に向けた受注活動をいたしました。

また、受注済の工事については、資材や人件費の高騰等もありましたが、徹底した安全管理と工期管理等、積極的なコスト管理を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,482,970千円、営業利益500,799千円、経常利益510,319千円、税金等調整前四半期純利益518,849千円、親会社株主に帰属する四半期純利益335,932千円となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

(建設及び機械設置工事業)

西日本エンジニアリング株式会社における建設及び機械設置工事業について、前連結会計年度から継続している九州沖縄地区、中四国地区及び東海地区の工事が順調に進捗し、売上高は1,380,176千円となりました。ハウステンボス・技術センター株式会社の建設及び機械設置工事業においても、新規の大型改修工事の受注や、前連結会計年度までに受注した大規模工事が順調に進捗し718,928千円を計上したことで売上高が急伸したことから、売上高は1,558,880千円となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間に属するセグメント売上高は2,939,057千円となりました。徹底したコスト管理及び安全管理を行った結果、セグメント利益については、485,743千円と順調に推移しました。

(ファシリティ・マネジメント事業)

資材や人件費の上昇はあったものの、自治体及び民間施設の管理受託契約の更新と、コストの上昇分の管理受託価格への反映が順調に進捗したことから、当第3四半期連結累計期間に属するセグメント売上高は543,913千円となりました。セグメント利益についても徹底したコスト管理の結果、131,845千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,319,184千円となり、前連結会計年度末に比べ580,149千円増加いたしました。流動資産は2,943,172千円となり、前連結会計年度末に比べ571,966千円増加しました。これは、主に受取手形・完成工事未収入金及び契約資産等の減少額79,693千円があった一方、現金及び預金の増加額506,301千円及びその他流動資産の増加額171,723千円によるものです。固定資産は376,012千円となり、前連結会計年度末に比べ8,182千円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,045,848千円となり、前連結会計年度末に比べ244,216千円増加いたしました。流動負債は922,815千円となり、前連結会計年度末に比べ250,503千円増加しました。これは、主に工事未払金等の減少額77,814千円があった一方、契約負債の増加額200,424千円、賞与引当金の増加額51,108千円及び未払法人税等の増加額44,394千円によるものです。固定負債は123,033千円となり、前連結会計年度末に比べ6,287千円減少しました。これは主に退職給付に係る負債の減少額5,387千円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,273,335千円となり、前連結会計年度末に比べ335,932千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益335,932千円を計上したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の70.7%から68.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想については、売上高4,105,701千円(前期比45.9%増)、営業利益418,531千円(同23.9%増)、経常利益427,691千円(同24.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益288,834千円(同16.6%増)を見込んでおります。

なお、上記見通しにつきましては、本資料の発表時点において把握している情報に基づいたものであり、今後、事業活動及び業績に大きな影響が見込まれる場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,549,069	2,055,371
受取手形、売掛金及び契約資産	696,408	616,714
商品	449	307
未成工事支出金	63,653	37,429
その他	61,625	233,349
流動資産合計	2,371,206	2,943,172
固定資産		
有形固定資産	184,896	194,250
無形固定資産		
のれん	49,243	40,553
その他	464	277
無形固定資産合計	49,707	40,830
投資その他の資産	133,225	140,931
固定資産合計	367,829	376,012
資産合計	2,739,035	3,319,184
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	273,867	196,053
未払法人税等	75,728	120,123
契約負債	67,037	267,461
賞与引当金	62,194	113,302
役員賞与引当金	18,713	30,148
工事損失引当金	2,945	—
資産除去債務	17,150	—
その他	154,674	195,725
流動負債合計	672,311	922,815
固定負債		
退職給付に係る負債	110,160	104,773
その他	19,160	18,260
固定負債合計	129,320	123,033
負債合計	801,632	1,045,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,000	88,000
資本剰余金	52,605	52,605
利益剰余金	1,796,798	2,132,730
株主資本合計	1,937,403	2,273,335
純資産合計	1,937,403	2,273,335
負債純資産合計	2,739,035	3,319,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
売上高	3,482,970
売上原価	2,657,532
売上総利益	825,438
販売費及び一般管理費	324,638
営業利益	500,799
営業外収益	
スクラップ売却益	7,492
その他	2,131
営業外収益合計	9,624
営業外費用	
固定資産除却損	104
営業外費用合計	104
経常利益	510,319
特別利益	
貸倒引当金戻入額	6,200
固定資産売却益	2,329
特別利益合計	8,529
税金等調整前四半期純利益	518,849
法人税、住民税及び事業税	189,174
法人税等調整額	△6,258
法人税等合計	182,916
四半期純利益	335,932
親会社株主に帰属する四半期純利益	335,932

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	335,932
四半期包括利益	335,932
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	335,932

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期 損益計算書 計上額 (注)
	建設及び機械設 置工事業	ファシリティ・ マネジメント事 業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサ ービス	936,892	55,110	992,003	—	992,003
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	2,002,164	488,469	2,490,634	—	2,490,634
顧客との契約から生じる収益	2,939,057	543,580	3,482,637	—	3,482,637
その他の収益	—	333	333	—	333
外部顧客への売上高	2,939,057	543,913	3,482,970	—	3,482,970
計	2,939,057	543,913	3,482,970	—	3,482,970
セグメント利益又は損失 (△)	485,743	131,845	617,588	△ 116,789	500,799

(注) 1. セグメント利益の調整額は△116,789千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり四半期純利益	157.73円
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	335,932
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	335,932
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,129,800
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—

- (注) 1. 2024年4月15日開催の取締役会決議により、2024年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2024年9月期第3四半期連結会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。